

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書

(平成29年度)

園名 (あげぼの認定こども園)

	評価基準	評価内容
I	心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育	○年齢ごとに走る距離を考慮しつつ、年間を通して毎朝マラソンを実施している。子どもたちの生き生きと走る様子や腰の高さから判断すると、身体の成長に大きく寄与した良い取組である。
II	異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育	○園庭にドームテントが常設され、天候に左右されることなく子どもたちが楽しそうに活動している。
III	自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育	○朝のマラソンに取り組んでいるとき、上半身と下半身の動きのバランスが悪く、走ることが苦手であろうと思われる子どもがいたが、自分の距離を最後まで走ることができていた。このように、集団のダイナミズム（力強さや迫力）の中で鍛えられることで、自信を持てるようになることは大切である。
IV	小学校との連携	○就学予定の小学校運動会・オープンスクールへの子どもの参加などに加え、保育教諭が保幼小中連絡会へ参加するなどし、小学校と連携している。 ○アフタースクール運営においても、小学校との教諭間連携を適切に行っている。
V	教育・保育の内容の保護者への説明	○入園説明会で「入園のしおり」・「重要事項説明書」をもとに、保護者に保育理念・保育方針・保育目標・取組などについて具体的に説明しており、行事の園長あいさつの機会にも教育・保育内容を説明し、周知に努めている。 ○毎月発行する「園だより」「クラスだより」でも説明をし、適切に発信している。

VI	職員の資質向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○「職員研修計画（内部・研修・訓練を含む）」を作成し、職員が計画的に学ぶ機会を設けている。 ○それぞれに応じた外部研修を受講できるように計画し、職員会議で園内研修・外部研修の伝達、ケース検討や助言・指導を交え、保育者の資質向上に努めている。
VII	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○マラソンで園外に出ていく場面でも、車の通らない農道を利用するなど、安全管理が適切に行われている。 ○「不審者対応マニュアル」、「事故対応マニュアル」、「避難訓練マニュアル」を整備し、年間計画のもとに月1回以上訓練を行い、危機管理に取り組んでいる。
VIII	地域の子育て拠点としての取組	<ul style="list-style-type: none"> ○志染地域との結びつきも深く、子育ての拠点として園庭開放を月～金曜日の10:00～17:00に実施している。 ○園庭開放・見学は地域交流ファイルに記録として残し、その機会に子育て相談などの対応を行っている。
IX	地域において子育て支援を行う団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○トライやるウィークやインターンシップでの中学生・高校生との交流や地域の老人会の花植え活動、園の行事への地域の方の参加などが行われており、地域に開かれた運営や丁寧な連携に取り組んでいる。